

## 1.平成 15 年度調査報告について

### 特記事項

これまで実施されてきた調査により、希少猛禽類の営巣地は 4 種について確認されています。現在、ダム事業の工事等により生息への影響が懸念されることも想定されていることから、保全対策の検討を行っています。

## 1-3 植物

### 1-3-1 河川藻類

平成 15 年度 現地調査計画 目的・方法・時期・調査地点

#### 調査の目的

額平川水系における付着藻類の現状把握を目的に調査を実施しました。

#### 調査の方法

調査項目	調査方法
付着藻類調査	調査は、平瀬の河床を構成する礫の表面について、面積 5cm×5cm の定量採取を行い、採取試料について、顕微鏡下で種の同定、計数を行なった。 通常調査では、上記採取方法のほか、目視確認可能な藻類の採集も行い、藻類の出現状況を相対的に判定した。

#### 調査日程・実施状況

調査時期	実施状況
平成 15 年 6 月（河床状況調査） 平成 15 年 6 月 平成 15 年 7 月 平成 15 年 10 月（河床状況調査） 平成 15 年 10 月	平成 15 年度調査は終了。 10 月の河床状況調査は、台風の影響により、主要地点のみ実施。

#### 調査地点

調査地点は、額平川本流の平取ダム予定地点の上下流に計 2 地点と支流宿主別川に 1 地点を設けた計 3 地点で実施しました。

河床状況調査は、上記地点の他、額平川本流の平取ダム予定地点の下流に 2 地点および総主別川、貫気別川に各 1 地点を加え、計 7 地点で実施しました。

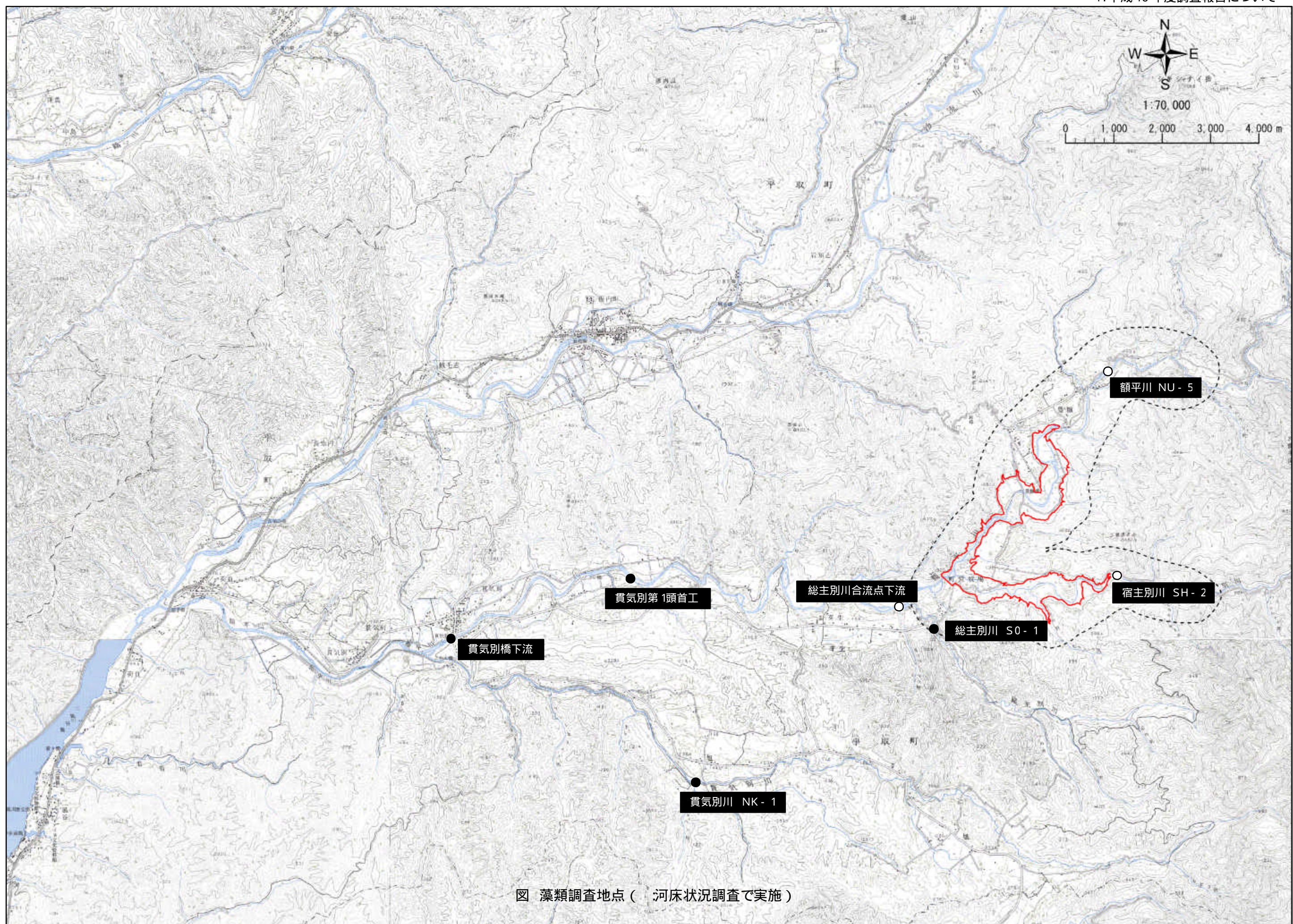


図 藻類調査地点 (河床状況調査で実施)

## 平成 15 年度調査結果 確認種・採集状況・優占種・特記事項

## 確認種

平成 14 年度調査の結果、6 月は緑藻 2 種、黄色鞭毛藻 1 種、珪藻 25 種、藍藻 3 種、10 月は緑藻 1 種、珪藻 29 種、藍藻 3 種が確認されました。

平成 15 年度調査の結果、6 月は緑藻 5 種、黄色鞭毛藻 1 種、珪藻 25 種、藍藻 8 種、7 月は緑藻 10 種、珪藻 30 種、藍藻 10 種、10 月は、緑藻 4 種、黄緑色鞭毛藻 2 種、珪藻 15 種、藍藻 2 種が確認されました。

このほか、河床状況調査により、6 月は緑藻 2 種、黄色鞭毛藻 1 種、珪藻 27 種、クリプト藻 1 種、藍藻 3 種、10 月は珪藻 12 種、藍藻 1 種が確認されました。

## 藻類確認種類数

種類	平成 15 年 6 月	平成 15 年 7 月	平成 15 年 10 月
緑藻	5	10	4
黄色鞭毛藻	1		
黄緑色鞭毛藻			2
珪藻	25	30	15
藍藻	8	10	2
合計	39 種	50 種	23 種

## 藻類確認種類数（河床状況調査による確認種）

種類	平成 14 年 6 月	平成 14 年 10 月	平成 15 年 6 月	平成 15 年 10 月
緑藻	2	1	2	
黄色鞭毛藻	1		1	
珪藻	25	29	27	12
クリプト藻			1	
藍藻	3	3	3	1
合計	31 種	33 種	34 種	13 種

## 採集状況

6 月調査では、河床の礫の表面は、目視により緑色あるいは褐色様の藻類で覆われていることが確認されました。

10 月の調査では、8 月の出水に伴い、各地地点とも河道内には新たな土砂が堆積しており、藻類が付着する礫が非常に少ない状態でした。また、わずかにみられた礫についても目視では、多くの地点で藻類の付着は認められませんでした。

## 1. 平成 15 年度調査報告について



額平川上流地点における 6 月の地点状況（左）と藻類の繁茂の状況（右）



額平川上流地点における 10 月の地点状況（左）と河床から採取した礫の状況（右）

### 優占種

全地点を通して、珪藻の *Achnanthes linearis* (マカクイウ), *Cymbella minuta* (クハクイウ)、藍藻の *Homoeothrix* sp. (ホエオスリクス) の割合が高い状態で推移していましたが、洪水後の平成 15 年 10 月では、*Navicula* 属 (ナビウ) の出現が顕著でした。

このほか、緑藻類の *Cladophora glomerata* (カゼシカサ), そして巨視的なカゼシカサ体上に微視的な珪藻類の *Cocconeis pediculus* (マイコダ) の一種)、緑藻で巨視的な *Ulothrix zonata* (カビミドロ) が確認されました。これに加え、冷水期には *Hydrurus foetidus* (ミスオ) が巨視的群落を作っていました。

## 平成 15 年度の優占種（河床状況調査結果による）

平成15年6月調査

河川	地点	優占種名			割合 (%)
額平川	貫気別橋下流	<i>Achnanthes linearis</i>	マカリケイソウ	珪藻	95.4
		<i>Homoeothrix</i> sp.	ホモエオスリックス	藍藻	1.6
		<i>Cymbella minuta</i>	クチビルケイソウ	珪藻	1.4
	貫気別第1頭首工	<i>Achnanthes linearis</i>	マカリケイソウ	珪藻	88.4
		<i>Cymbella minuta</i>	クチビルケイソウ	珪藻	5.2
		<i>C. sinuata</i>	クチビルケイソウ	珪藻	1.6
	総主別川合流点	<i>Achnanthes linearis</i>	マカリケイソウ	珪藻	97.0
		<i>Homoeothrix</i> sp.	ホモエオスリックス	藍藻	1.6
	NU-5	<i>Achnanthes linearis</i>	マカリケイソウ	珪藻	79.2
		<i>Hannaea arcus</i>	クジケイソウ	珪藻	10.6
<i>Hydrurus foetidus</i>		ミスオ	黄色鞭毛藻	4.0	
貫気別川	NK-1	<i>Achnanthes linearis</i>	マカリケイソウ	珪藻	72.4
		<i>Cymbella minuta</i>	クチビルケイソウ	珪藻	23.9
総主別川	SO-1	<i>Homoeothrix</i> sp.	ホモエオスリックス	藍藻	33.9
		<i>Rhoicosphenia curvata</i>	マカリサビケイソウ	珪藻	15.4
		<i>Achnanthes linearis</i>	マカリケイソウ	珪藻	4.2
宿主別川	SH-2	<i>Achnanthes linearis</i>	マカリケイソウ	珪藻	39.3
		<i>Homoeothrix</i> sp.	ホモエオスリックス	藍藻	31.1
		<i>Cymbella minuta</i>	クチビルケイソウ	珪藻	8.6

平成15年10月調査

河川	地点	優占種名			割合 (%)
額平川	NU-5	<i>Synedra ulna</i> var. <i>oxyrhynchus</i>	マルビハリケイソウ	珪藻	100.0
貫気別川	NK-1	<i>Navicula viridula</i>	フネケイソウ	珪藻	40.8
		<i>Homoeothrix</i> sp.	ホモエオスリックス	藍藻	22.9
		<i>Navicula cryptocephala</i>	フネケイソウ	藍藻	9.3
総主別川	SO-1	<i>Navicula viridula</i>	フネケイソウ	珪藻	100.0

## 特記事項

岩上の付着基部にマカリケイソウおよびホモエオスリックス、上部にマイコヅガを多数付着させた珪藻の巨視的群落、という組み合わせの河川藻類群集は、他では幾春別川上流域でのみ知られており、稀な藻類群集である可能性があります。また、量的には少ないものの、藍藻類の *Clastidium setigerum* (クラステイジウム) と *Cyanophanon mirabile* (シアンファン) が上流側の調査点で見いだされました。

これら 2 種は、日本では現在のところ札内川上流域の中部-上部でのみ出現することが知られています。